

案内

第4回日本CNS看護学会

日時：6月25日(日)

会場：JP TOWER ホール&カンファレンス(東京都千代田区)

テーマ：地域包括ケアシステムを見据えたCNSのビジョンとミッション

プログラム：大会長講演「地域包括ケアシステムを見据えたCNSのビジョンとミッション」宇都宮明美(聖路加国際大学大学院看護学研究科准教授)／特別講演「地域包括ケアシステムの構築と推進における課題」(計画中)／海外招請講演「ケアの受け手のQOLを高めるHealth Policyと高度実践看護」Sabina Gonzalez(米国RN, MS, Clinical Nurse Educator ; Adult Critical Care Institute for Nursing Excellence, UCSF Medical Center, USA)／シンポジウム「地域包括ケアシステムを見据えたCNSのビジョンとミッション」川本利恵子(日本看護協会常任理事)・上泉和子(日本看護系大学協議会)・吉岡佐知子(松江市立病院地域医療課課長)・吉田美由紀(ベテル在宅療養支援センター)／パネルディスカッション「医療介護連携を推進するCNSのミッションとストラテジー」中野眞樹子(エムエムIMS)・市原真穂(千葉科学大学看護学部)・宇野さつき(新国内科医院)・藤井淳子(東京女子医科大学病院)／パネルディスカッション「CNSとして、もっと活用されるためには?—高度実践看護の役割と期待」井階友貴(福井大学医学部地域プライマリケア講座／高浜町国民健康保険和田診療所)・家崎芳恵(野村訪問看護ステーション)・河野政子(地域包括ケアコンサルティングあるす)・田村恵美(筑波大学附属病院)／大会長特別企画「CNSは看護管理者とどのようにつきあうか」井部俊子(聖路加国際大学名誉教授／井部看護管理研究所)／スキルアップセミナーセミナー1「地域包括ケアで看・看護連携を強固にするための組織へのアプローチ」伊藤真理(岡山大学病院看護部)・平山五月(淀川キリスト教病院)・富川明子(薫風会山田病院)・大市三鈴(伊勢赤十字病院)・鶴屋邦江(川崎病院)／セミナー2「倫理的意思決定のためのアプローチ第3弾」稲葉一人(中京大学法科大学院)／専門看護師のための系統的継続トレーニングに関するセミナー／教

育セミナー「CNSの看護実践が看護学の発展に寄与するために—CNSに求められる事例研究とは」仲村直子(神戸市立医療センター中央市民病院)・編集委員会からCNS学会投稿への情報提供：寺岡征太郎(東京医科大学)／政策セミナー「変革に挑戦したCNSの軌跡—政策的取り組みを实践した専門看護師の力と経済的評価」得居みのり(姫路聖マリア病院)・宇佐美しおり(熊本大学大学院生命科学研究部)・渡邊真理(神奈川県立保健福祉大学)／交流集会「急性期から在宅までシームレスな医療連携：事例で考える施設・分野を超えたCNSの協働とその可能性」井上和代(高知赤十字病院看護部)・扶藤由起(ひばりホームホスピスひばりクリニック)

参加費：正会員・賛助会員8000円、非会員9000円 *抄録集1冊含む

申込方法：学会ホームページの申込フォームより

<http://jacns2017.jp/announcement.html>

事前登録締切：6月21日(水)

問い合わせ：運営事務局

〒104-0051 東京都中央区佃1-11-6 1603 クレッシェ内

TEL:03-6231-0307

FAX:03-5546-0486

E-mail:office@jacns2017.jp

案内

2017年度京都橋大学看護リカレント講座

テーマ：高めよう実践力！PART4—地域の暮らしを支える看護の実現

日時：7月4日(火)、8月1日(火)、9月5日(火)、10月3日(火)、11月7日(火) 各回とも18:10～19:30

会場：キャンパスプラザ京都(京都府京都市)

内容：

第1回(7/4)「地域生活を支える看護師を育てる新人教育システム」越後和代(洛和会ヘルスケアシステム本部採用教育課部長・看護師)

第2回(8/1)「障害を抱えた生活—当事者の視点と医療者の視点」山田隆司(シャルコー・マリー・トゥース病患者会「CMT友の会」代表・作業療法士)

第3回(9/5)「地域包括ケアシステムの今とこれから」石田昌宏(参議院議員・看護

師)

第4回(10/3)「地域で支えるエンドオブライフ」西山みどり(有馬温泉病院看護部ケア開発室室長・老人看護専門看護師) 第5回(11/7)「自助」をどう支えるか?—訪問看護の現場から」河原宣子(京都橋大学看護学部)

対象：看護職者、介護職者、医療関係者(学生可)

申し込み：下記HPの申込フォーム、または電話、FAX、E-mailで。「看護リカレント講座」と明記の上、①受講希望日、②氏名(漢字・ふりがな)、③住所、④電話番号、⑤E-mailアドレス、⑥勤務先を添えて申し込む

定員：各回100名(先着順)

受講料：各回1000円、5回一括の場合4000円(いずれも税込)

問い合わせ・申し込み先：京都橋大学エクステンションセンター(学術振興課)

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34

TEL:075-574-4186(直通)

FAX:075-574-4149

E-mail:aca-ext@tachibana-u.ac.jp

http://www.tachibana-u.ac.jp/research_area/recurrent/2017/02/part45.html

案内

第23回日本看護診断学会学術大会

日時：7月15日(土)～16日(日)

会場：国立京都国際会館(京都府京都市)

テーマ：患者像をつかむ！看護診断をケアに活かそう

プログラム：会長講演「患者像をつかむ！」任和子(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)／特別講演1「再考：患者像に名前をつけること」村井俊哉(京都大学大学院医学研究科精神医学)／2「患者中心のチーム医療の現在—米国急性期病院の実践から」竹熊カツマタ麻子(国際看護学術コンサルタント(前OSF聖アンソニーメディカルセンター)／特別企画「臨床でよく使う看護診断」江川隆子(関西看護医療大学)／教育講演1「脳卒中ケアの地域連携—情報共有における課題と看護診断への期待」鈴木千佳代(聖隷浜松病院)／2「ビッグデータ科学時代の看護情報の蓄積」黒田知宏(京都大学医学部附属病院医療情報企画部)／

3「クリニカルパスと看護診断過去・現在・未来」村木泰子(元日本地域統合人材育成機構)／4「患者像をつかむアセスメントと看護診断」伊東美佐江(川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科)／シンポジウム「患者像をつかむ、伝える、共有する—変わりゆく医療現場の中で」北村愛子(大阪府立大学看護学研究科)、桑田美代子(青梅慶友病院)、本田育美(名古屋大学大学院)

参加費:(事前登録)会員・会員申請中1万円, 非会員1万1000円, (当日)会員・会員申請中1万1000円, 非会員1万2000円, 学生(学生証提示, 大学院生, 看護師資格をもつ研修学校等の学生は含まない)3000円。懇親会5000円

事前登録方法:下記ホームページの登録フォームより

事前登録期限:6月6日(火)

問い合わせ先:運営事務局

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル6F エー・イー企画内

TEL:06-6350-7247

FAX:06-6350-7164

E-mail:jsnd2017@aeplan.co.jp

案内

第22回日本在宅ケア学会 学術集会

日程:7月15日(土)~16日(日)

会場:北星学園大学C館(北海道札幌市)

プログラム:学術集会長講演「在宅におけるリスクと安心のマネジメント」工藤禎子(北海道医療大学)／特別講演1「介護保険システムの持続とケアの質の保障—公助のあり方」白澤政和(桜美林大学大学院)／特別講演2「ご近所力を生かした孤立予防—互助, 共助のあり方」谷川良一(グランドワーク西神楽)／シンポジウム1「介護予防とセーフティ・マネジメント—自助, 互助, 共助, 公助をつなぐ」亀井智子(聖路加国際大学大学院), 田高悦子(横浜市立大学大学院), 八木裕子(東洋大学)／シンポジウム2「若年性認知症の人が安心して暮らせる社会」平野雅宣(北海道若年認知症の人と家族の会), 武田純子(ライフアート), 内海久美子(砂川市立病院認知症疾患医療センター)／シンポジウム3「当事者・住民・

専門職が創る安心な地域社会—ソーシャル・キャピタル」栗山文雄(白石地区社会福祉協議会), 小平正治(札幌市白石区社会福祉協議会), 奥田龍人(シーズネット), 篠原辰二(Wellbe Design)／ほか
参加費:(当日)会員8000円, 非会員9000円, 大学院生3000円, 抄録集2000円

問い合わせ先:北海道医療大学看護福祉学部看護学科地域保健看護学講座内学術集会事務局(担当:竹生礼子)

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

E-mail:take-r@hoku-iryo-u.ac.jp

URL:http://184.73.219.23/jahhc/syuukai/22th/index.html

案内

北海道医療大学 看護福祉学部学会 第14回学術大会

日時:9月16日(土)10:00~16:30

会場:北海道医療大学札幌サテライトキャンパス・ACU(北海道札幌市)

テーマ:保健医療福祉における専門性と当事者性の再考

プログラム:特別講演「当事者研究による知識と技術の co-production」熊谷晋一郎(東京大学先端科学技術研究センター「当事者研究分野」准教授)・向谷地生良(北海道医療大学看護福祉学部)／シンポジウム「保健医療福祉における専門性と当事者性を考える」土島智幸(医療法人稲生会理事長・医師)・寺本圭佑(足寄町役場兼足寄町国保病院・ソーシャルワーカー)・近田真美子(福井医療大学講師・看護師)・伊藤たてお(NPO 法人難病支援ネット北海道代表)・熊谷晋一郎／研究発表

参加費:(事前申込)会員2000円, 非会員2500円, (当日申込)一律3000円(特別講演のみ:無料)。情報交換会3500円※詳細は学会ホームページより http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai/

事前申込期限:8月31日(木)

問い合わせ先:第14回学術大会実行委員会

E-mail:nsgakujyutu@ml.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai/

案内

第13回 日本乳がん看護研究会

日時:10月21日(土)9:55~16:30
(9:00 開場・受付開始)

会場:KFC ホール3F(東京都墨田区)

テーマ:「あなたらしい出発をとるに考えるアピアランス支援」

プログラム:教育講演1「アピアランス支援の意義とエビデンス」野澤桂子(国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センター長)／2「看護師だからできるアピアランスケアの実践」藤間勝子(国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センター臨床心理士)／ランチョンセミナー(事前参加申込制, 昼食付)／個別相談会(事前申込制)担当:乳がん看護認定看護師, 看護教員など／ワークショップ「アピアランス支援の現状と課題」／ケースカンファレンスケース1「乳房切除術を受け入れられない患者の意思決定支援と退院調整」／ミニセミナー

定員:330名

参加費:(事前登録, 8月31日まで振込)会員4000円, 非会員5000円, (9月30日まで振込)会員5000円, 非会員6000円, (当日)会員5000円, 非会員6000円
事前登録締切:9月30日(土)(振込期限9月30日)

登録方法:下記ホームページ内の「こくちーず」のサイトより。個別相談会, ランチョンセミナーは事前申込制。登録時に申し込む

問い合わせ先:事務局(阿部恭子)

〒260-8672 千葉県中央区亥鼻1-8-1 千葉大学大学院看護学研究科成人看護学領域内

E-mail:info@jabcn.jp

http://www.jabcn.jp/activity/index.html#13_news